

カヤツリグサ科

アワボスゲ

Carex nipposinica ohwi

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

■ 県内分布

阪神、東播磨、淡路

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性	
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布	
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界	
		希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

耕作地周辺の草原の消失や状態悪化により減少している。2020年版での新規掲載種。

■ 保護上の留意点

耕作地周辺の草原の維持が重要である。



写真提供:松岡成久

■ 種の概要

ヤワラスゲによく似ているが、丈が少し高く30-70cm、果時にはときに倒れ、果胞は広卵形、上端は急に短い嘴となり、長さ3mm程度。和名は「栗穂菅」で、果胞がやや栗粒に似ていることからである。